

和泉川観測・観察 水位・水質・生物

2023年4月

東山の水辺

日	曜	時刻	水位	目視	流量	雨量	気温	水温	PH	電導率	その他(生物、透視度等)						
			cm		m ³ /分	mm	℃	℃			μS	ア	オ	カ	ザ	ヌ	生物
1	土	18:10	19.4	良流			16.8	18.2	6.9	200					2		シジウカラ1
2	日	18:35	19.2	良流		3	13.3	15.1	6.8	196					2	カワニナ2	シジウカラ1
3	月	18:05	18.9	良流			13.5	16.6	6.9	200					1	ヨコエビ1	アオサギ1 シジウカラ1
4	火	18:20	19.0	良流			15.3	16.4	7.0	200							ヒヨドリ1 シジウカラ1
5	水	18:10	19.1	良流			17.6	16.8	7.1	200							コサギ1 ヒヨドリ1 シジウカラ1
6	木	18:10	19.6	良流			18.2	18.3	7.1	200	1				2		カルガモ2 カワセミ1
7	金	18:15	21.6	良流		7	17.1	17.3	6.8	200					2	タモロコ1	
8	土	18:20	38.1	泥流		21	10.8	14.4	6.9	94					6	カワニナ1	
9	日	18:20	18.0	泥濁			12.9	15.5	6.9	200					5	1	
10	月	17:20	17.6				18.6	17.8	6.8	220					2		
11	火	18:30	17.0				18.9	18.8	6.9	220	1				2	ヨコエビ1	ハシボソガラス2
12	水	18:55	16.8				19.8	18.9	6.9	210					1		ムクドリ3 ハシボソガラス2
13	木	18:10	15.7				16.7	18.6	6.9	210					3	カワニナ1 サホコカゲロウ1	カルガモ1
14	金	18:20	15.6				18.7	17.8	6.9	200					1	ドジョウ大1	
15	土	18:20	48.1	泥流		55	14.6	14.8	7.0	65						—	ハシボソガラス2
16	日	18:20	19.0	良流		7	18.6	19.6	6.8	176					6	カワニナ4	コサギ1 ハシボソガラス1
17	月	18:20	17.9				15.2	18.0	6.9	194					3	カワニナ1	ムクドリ2
18	火	18:05	17.0				15.0	17.3	6.8	200					5	2	オオアメンボ1 アオダイショウ1 ムクドリ2
19	水	18:45	16.7				19.4	19.1	6.9	210					2	オオアメンボ1	シジウカラ2(餌やり)
20	木	18:10	16.5				21.1	22.1	7.0	210					2		ムクドリ4
21	金	18:20	15.8				20.3	22.6	6.9	210					6	カワニナ2	ツバメ2
22	土	18:10	15.4				21.1	22.1	7.0	210	2				2		カルガモ2 ムクドリ群10 キジバト2
23	日	18:30	14.8				15.2	16.7	6.9	210	1				4		ツバメ2 キジバト2
24	月	18:25	15.0				13.3	14.2	7.0	200					6	タモロコ1 カワニナ1	ハシボソガラス2
25	火	18:30	17.1	薄白濁			15.3	14.5	6.9	210					4		
26	水	18:10	30.0	薄泥流		61	16.4	18.2	7.0	57						—	アオダイショウ幼体1 ムクドリ群10
27	木	18:05	18.6	良流			18.2	19.1	7.0	186					6	カワニナ9	オオアメンボ1
28	金	18:30	18.6	良流			18.2	20.0	7.0	210					5	1	シマドジョウ1 カワニナ2
29	土	18:30	18.0	良流			19.7	20.2	6.8	250	1				1	1	ヨコエビ2 カワニナ2
30	日	18:30	17.9			6	19.8	19.3	7.0	145					4		タモロコ1 シマドジョウ2 ツバメ2 ムクドリ2
合計・平均			19.7	良11		160	17.0	17.9	6.9	190	6	0	0	85	5		タモロコ3 シマドジョウ3 ドジョウ1 カワニナ25

特記

ヨコエビ4 サホコカゲロウ1 オオアメンボ3

降雨により、先月の長い「瀬切れ・干上がり」から水位が回復した。しかし一旦上がった水位も以前より早く低下するようになった。水生生物の戻りも遅く、最も個体数の多かった魚類・カワムツは0であった。川の中の食物連鎖の底辺を担っていたヌマエビも回復していない。和泉川のシンボリックカワセミも1回だけの観察である。以前のような豊かな生態系が戻ってきて欲しい。